

第12回臨床研究推進啓発セミナー

共催

慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター

首都圏ARコンソーシアム(MARC)

開催日 : 2017年6月20日 (火)

時 間 : 18:30 -19:30

場 所 : 慶應義塾大学医学部 東校舎 講堂

対 象 : 医師・歯科医師、看護師・薬剤師等の
メディカルスタッフ、事務職員などの
病院教職員

慶應義塾大学病院臨床研究推進センターでは、安全で適正な臨床研究・治験の計画策定ならびに実施に必要な基本知識やコア・コンピテンシーのエッセンスを入門者にも習得していただくべく「臨床研究推進啓発セミナー」を開講しています。

臨床試験は究極の「患者中心のチーム医療」

～質の高い臨床試験実施のために各職種はどう関わるのか～

The University of Texas MD Anderson Cancer Center 教授
慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター 客員教授

上野 直人 先生

臨床試験の実施には医師のみならず様々な職種のスタッフの関与が不可欠です。また患者は、試験の目的や利益/不利益などについて説明を受け、理解した上で試験への参加を決定します。したがって、臨床試験は患者の同意に基づく治療であり、実施計画書に則って患者中心に行われる究極のチーム医療といえます。上野先生は米国において、数多くの臨床試験・治験を実施され、がん治療開発に大きく貢献されています。また医療における「チームABC」の提唱者であり、医師、薬剤師、看護師のみならず検査技師、社会福祉士、事務職員など全ての病院職員、そして患者家族や製薬企業の社員までもがチーム医療の担い手であることを論文を通じて世界に発信されています。そこで今回は、質の高い臨床試験実施のための各職種の関わり方についてチーム医療という視点を交えながら共有し、考えていきたいと思ひます。

お問い合わせ先 : 臨床研究推進センター 教育研修事務局
(keio-edu-tra@adst.keio.ac.jp) 内線 : 61930